

美楽舎

B i G a K u S Y a
News letter

No. 366

会報 第 366 号 (令和 4 年 4 月発行)

HP: <http://bigakusya.com>
Mail: info@bigakusya.com

第 390 回 (3 月) 例会

アートフェア東京 2022

報告なし。

某日月誌

ぼうじつげっし



○新コロの件はワクチン接種者（2 回目）は 8 割となり、（3 回目）も 5 割近くとなり順調に進んでいる。東京都の感染者（1 日）は未だ 5 千人以下にはなっていないが、先週より千人単位で少なくなり減少傾向にある、GW 後も減少が続けばひと安心なのだが、そうは行かないだろうな。世界の死亡者は今日（2 4 日）の情報で約 6 2 0 万人でやっと減少傾向に変化して来た。

○3 月某日：「江戸の滑稽」版美ヘシルバーデー無料日に行く。田河水泡 C は虫食いなどなく状態が凄く良かった、図録があれば買ったが、なくて 4 P のパンフがあり、下部に小文字で「この冊子は 5,500 部作成し、1 部あたりの単価は 42 円です（職員人件費を含みます）」と書かれていた。国芳から小林清親まで 1 4 0 点の出品、撮影 OK なので、図録がないので沢山撮った、P C セット（6 5 0 円）を買った。常

設企画では奈良美智の木版画など 1 0 点あり、こちらは勿論撮影 N G だった。

○某日：「カラーフィールド 色の海を泳ぐ」（3 月 1 9 日～9 月 4 日）川村記念美へ、事前予約制で当日出かける前に P C を立ち上げ Q R コードを撮ってたら、予定の電車で遅れてしまい、送迎バスは目の前で発車してしまった。次のバスまでコーヒーを飲み待つ。始めにグッズ場で図録（3 2 0 0 円）を予約した（見る前にだ、2 6 日に届いた。一般書籍本価格は 3 8 0 0 円）。マーヴィッシュ C より作家 9 名の大作の展示。桜の開花にはまだ早かった、一週間後には満開したようだ。帰りは佐倉市立美経由のバスに乗りして「フランソワ・ポンポン展—動物を愛した彫刻家」を見る、図録（2 1 0 0 円）は完売、チラシも既に置いてなかった。石膏作品、小品が多くあり、半分以上が群馬県立館林美所蔵、後期はブラン